

農水産品輸出拡大に向けた
ヤマトグループの取組について
～スマートフードチェーンシステムの構築に向けて～



平成30年2月28日（水）
ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株)
国際戦略本部 下築 亮一

1. ヤマトグループの事業紹介ならびに農林水産品輸出拡大に向けた取り組み

(1) 当社の海外宅急便展開について

ヤマトグループの海外現地法人は23カ国で業務を展開
「宅急便」事業については海外7カ国にて展開！ ※ベトナムは一部機能のみ

北米
カナダ
アメリカ
メキシコ

欧州
ベルギー
オランダ
ドイツ
イギリス
フランス
イタリア
ハンガリー

アジア
中国
韓国
上海
台湾
香港
タイ
マレーシア
ベトナム
シンガポール
インド
インドネシア
フィリピン

◆宅急便事業の開始状況
2000年10月 台湾
2010年1月 上海、シンガポール
2011年2月 香港
2011年9月 マレーシア
2017年1月 タイ
2017年8月 ベトナム
(クール宅急便、B向けのみ)

■ 宅急便展開エリア (ロジスティクス含む) ■ 現地法人展開エリア ■ 駐在員事務所設置国

(2) 地方との連携による農水産品の輸出拡大

「県」単位で連携協定を締結し、各県ごとの最適な物流・商流の構築！

地方自治体との連携

- 2015年2月協定締結 鹿嶋市 × ヤマト運輸 × ANA Cargo
- 2016年3月協定締結 秋田県 × ヤマト運輸 × ANA Cargo
- 2014年6月協定締結 青森県 × ヤマト運輸
- 2014年10月協定締結 熊本県 × 肥後銀行 × ヤマト運輸
- 2017年3月協定締結 静岡県 × 静岡銀行 × ヤマト運輸 × ANA 総研
- 2017年3月協定締結 福島県 × ヤマト運輸 × ANA 総研
- 2016年5月協定締結 (包括連携協定) 茨城県 × ヤマト運輸 × ANA 総研
- 2016年5月協定締結 (包括連携協定) 若手県 × ヤマト運輸
- 2017年1月協定締結 鹿児島県 × 鹿児島銀行 × ヤマトHD × ANA 総研
- 2015年7月協定締結 宮崎県 × 宮崎銀行 × ヤマト運輸 × ANA Cargo
- 2016年1月協定締結 三重県 × ヤマト運輸 × ANA Cargo
- 2016年12月協定締結 山形県 × ヤマト運輸 × ANA 総研

(3) 沖縄国際物流ハブを活用した水産品の輸出

2013年10月スタート！
2016年「日本サービス大賞(国土交通大臣賞)受賞」

【国際クール宅急便仕向け地】
香港・シンガポール
台湾・マレーシア・タイ

01 日本
02 香港
03 香港

国際クール宅急便
クール宅急便
航空輸送中も低温で輸送します

クール宅急便対応トラック
温度管理コンテナ

Frozen 急凍品
Chilled 冷蔵品
スリット

- ◆ 地方からでも1個からでも冷蔵・冷凍が可能、また、最短翌日に配送します。
- ◆ 厳密な温度管理のもと配達し、商品の品質を保証。

(4) 中ロット向け新たな輸送サービスの構築

特殊専用梱包を施し一般貨物扱いで海外へ航空輸送します 【特許取得済】

国際間小口保冷一貫輸送「国際クール宅急便」に加えて、中・大ロット化・より安価な輸送な輸送方法へのニーズが高まったことから、ヤマトチャイルドエアカーゴを開発。特殊な保冷包装技術(特許取得)により、品質を保ちながらも低コストでの輸送を実現。

	航空保冷コンテナ	キーブクールサービス	ヤマトナチュラルエアカーゴ
温度管理(品質)	○	△	○ 定温輸送により商品ロス率15%減
物流コスト	△	△	○ キーブクールに比べコスト10%削減(他社比)
物量の制限	△	○	○ 柔軟性あり(パレット単位)

【YNA輸出梱包のフロー】

パレタイズ梱包

1. 商品をパレットの上に乗せ、最上部に保冷材を設置

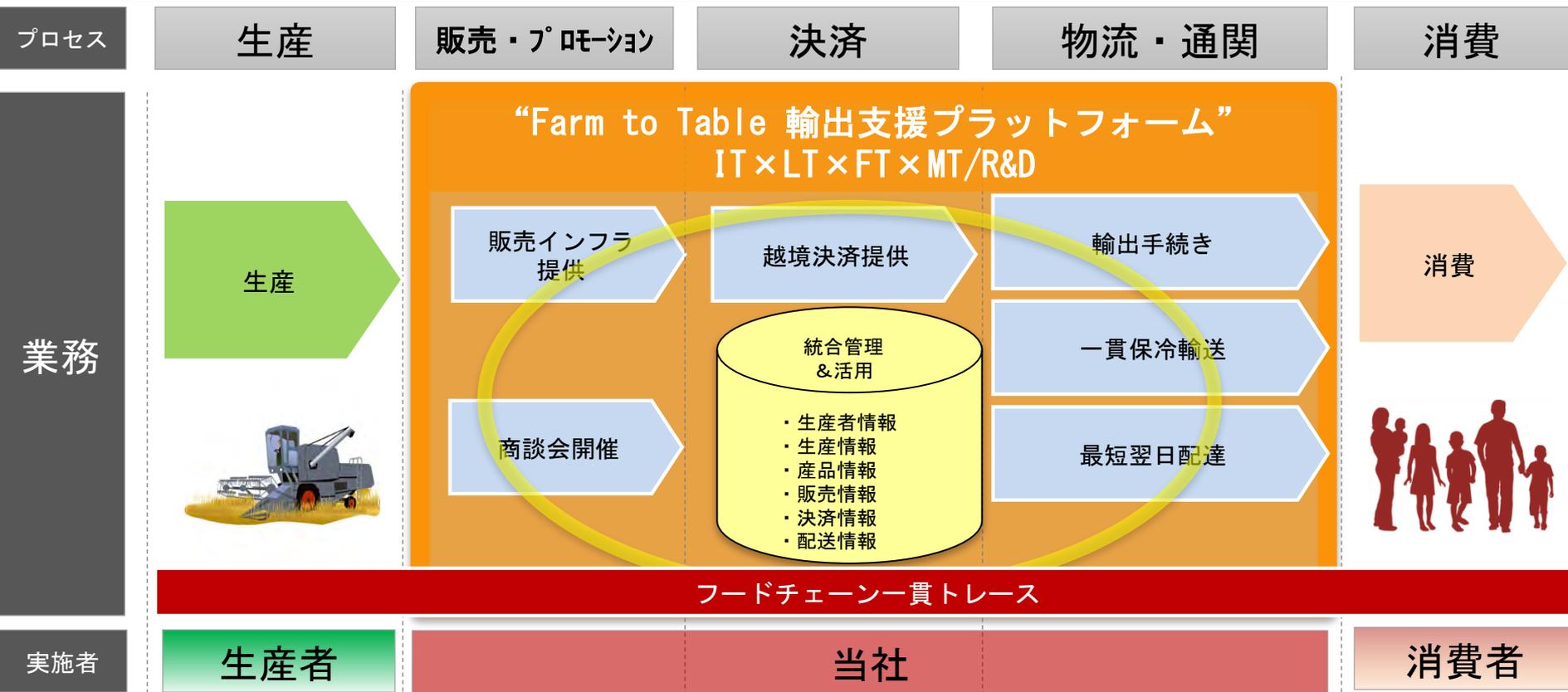
2. ブルーの断熱材とエアパッキンを6面に巻く

3. ダメージ防止の角あて材をつけ、ラッピングバンドで結んで完了

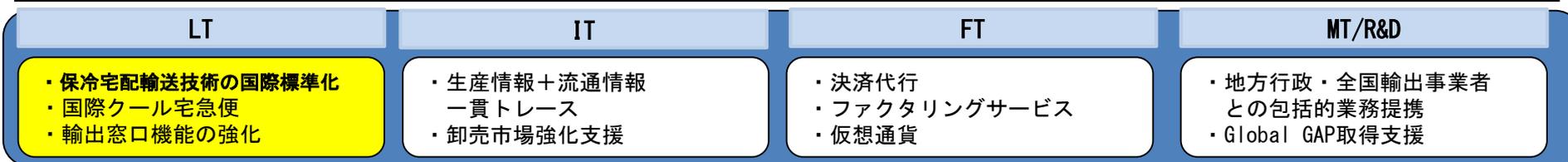
【YNA専用保冷剤】

3. 当社の考える農水産品輸出促進プラットフォームイメージ図

目指す姿：DAN-TOTSU 農水産品輸出促進プラットフォームの構築



施策：LT・IT・FT・MT/R&D機能の融合による輸出プラットフォームの構築



BSIグループジャパン（英国規格協会）と連携し、保冷宅配サービスの国際規格を策定
日本のクール品質を世界各国に普及、クール市場活性化に貢献



PAS※規格
(公開仕様書)

bsi.

※Publicly Available Specifications

規格策定・認証機関

- 日本の宅配業界が長年培ってきたノウハウ・運用基準に基づき規格化
 - 生活利便性ととともに業界全体の信頼性を向上
- 日本のクールジャパン戦略に資する

羽田クロノゲートベース・沖縄国際物流ハブが食品安全の国際規格「FSSC22000」の認証を取得 ～物流カテゴリーでの認証取得は世界初～



登録組織	ヤマト運輸株式会社 羽田クロノゲートベース
登録番号	FS-062
認証スキーム	FSSC22000Ver.4.1 (ISO22000:2005,NTA8059,FSSC22000追加要求事項含む)
登録カテゴリー	G1(腐敗しやすい食品及び飼料の輸送及び保管サービスの提供)
登録範囲	冷凍・冷蔵食品の輸送及び保管サービスの提供
初回認証登録日	2017年7月27日
審査登録機関	オーデイス株式会社
認定機関	JAS-ANZ (The Joint Accreditation System of Australia and New Zealand)



- 食品安全の国際規格に則った食品安全危害を管理する仕組みを構築
- 今後他の施設においても認証取得を拡大